

(Daily 日本史) ~旧石器→10世紀~

【問】 2003年 福岡大学 人文(歴史/英語/東アジア地域言語), 経済(産業経済)

次の文章(A~K)を読み、下線部分が誤っていれば、それを訂正する語句を語群からひとつ選び、解答欄に番号を記入せよ。正しければ、番号〔5〕を記入せよ。また、設問iの答えは、正確な漢字で解答用紙に記入せよ。

A 人類の先祖である猿人が誕生したのはアフリカ大陸で、そこから地球上にひろがっていったといわれる。この人類の黎明期は、地球の気候がきわめて寒冷な時代で、海面は現在より100メートル以上も低いことがあった。日本列島の最初の人類は、この環境を利用して、アジア大陸から丸木船をつかってやってきたと推測されている。

[語 群]

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 きわめて温暖な | 2 安定した |
| 3 歩いて | 4 簡単ないかだで |

B 縄文時代には、竪穴住居をつくって定住的な生活が営まれるようになった。当時のひとびとの生活圏は、おもにムラとその周辺に限られていたが、石器の材料である黒曜石など近くで手に入れることが難しい必要物資については、遠方の産地と交易がおこなわれることもあった。狩猟・漁撈・採集を中心とする縄文文化は、次の時代の弥生文化と異なり、九州から東北地方にまでおよんでいたといわれる。

[語 群]

- | | | | |
|-------|-------|--------|----------|
| 1 硬 玉 | 2 骨角器 | 3 本州全域 | 4 日本列島全域 |
|-------|-------|--------|----------|

C 日本列島で1万年近くにわたって狩猟・漁撈・採集の時代がつづくあいだに、中国大陸では紀元前5000年前後に、黄河下流域で稲作がはじまった。日本では、大陸の影響をうけて、まず縄文時代の終わりに九州北部で水稻耕作がはじまり、しだいに他の地域にもおよんでいった。縄文人と弥生人は平均身長に変化がみられるが、これは背のたかいひとびとが大陸からわたってきて、先進の文化をつたえるとともに、混血をくりかえした結果だと考えられている。

[語 群]

- | | | | |
|-------|-------|---------|-------|
| 1 長 江 | 2 遼 河 | 3 背のひくい | 4 骨太の |
|-------|-------|---------|-------|

D 中国の歴史書によれば、紀元前1世紀ごろ、倭人の社会では100余国が分立し、現在の朝鮮半島にあった中国の郡に使いをおくっていたという。また、その次の時代の中国の歴史書は、福岡平野にあった国の王が中国の皇帝に使いを送り、印綬をうけたことをしるしている。この印は中国に提出する国書に封をするためのもので、江戸時代にある農夫が土中から偶然に発見した。

[語 群]

- | | |
|----------|--------|
| 1 中国東北地方 | 2 江南地方 |
| 3 佐賀平野 | 4 対馬 |

E 266年、卑弥呼の後継者であった男王が使いをおくって以降、ながらく倭に関する記事は中国の歴史書にでてこない。倭がふたたび外国の史料にあらわれるのは、高句麗の王の業績をたたえた碑文である。ここには、4世紀後半、海をこえてやってきた倭と交戦したことがしるされる。倭の朝鮮進出の目的は、当時まだ国内で生産できなかった鉄資源の確保のためといわれる。

[語 群]

- | | | | |
|------|------|------|-----|
| 1 大王 | 2 女王 | 3 新羅 | 4 晋 |
|------|------|------|-----|

F 5世紀のころ、朝鮮半島における政治的立場を有利にするために、倭国の5人の大王があいついで中国に使節をおくった。これらの大王たちは、大阪平野に圧倒的な規模の古墳をきずいたが、その一つの理由には、外国からの使節に大王の権威を示す目的もあったとする説もある。こうした大陸との交流をつうじて、あたらしい技術をもったひとびとが日本列島に渡来し、鉄器や土師器の生産がはじまった。

[語 群]

- | | | | |
|--------|--------|------|-------|
| 1 奈良盆地 | 2 京都盆地 | 3 漆器 | 4 須恵器 |
|--------|--------|------|-------|

G 「倭の五王」の王朝は後継者がとだえ、北陸出身の人物がむかえられて大王となった。この新大王・欽明の朝廷で大きな力をもったのは、大連の大伴氏であったが、朝鮮政策の失政で勢力をうしない、物部氏がこれにかわった。6世紀のなかごろには、あらたに大臣の蘇我氏が台頭してきて、物部氏ときびしく対立するようになった。

[語 群]

- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1 継体 | 2 用明 | 3 蝦夷 | 4 隼人 |
|------|------|------|------|

H 6世紀の日本にとって、仏教は外来の先進文化であった。仏教を国家として正式にうけ入れるにあたっては、積極派の蘇我氏らと伝統的なわが国固有の信仰に固執するグループのあいだで、大きな論争がおこった。6世紀の末には、中国大陸で統一王朝が成立するなど、東アジア情勢には大きな変化があらわれてくるが、倭国の朝廷でも蘇我氏が物部尾輿をほろぼして、政権を独占するようになった。

[語 群]

- 1 物部氏 2 中臣氏 3 守 屋 4 麩鹿火

I 唐が高句麗に攻撃を仕掛けるという国際情勢の緊張のさなかに、蘇我氏打倒のクーデターはおこった。政権をにぎった中大兄皇子らは、あたらしいかたちの国造りにのりだし、かつて遣隋使として中国にわたった経験がある人物を政治顧問に起用した。この年、中国にならってのはじめて元号を採用するとともに、都を難波にうつした。

[語 群]

- 1 遣唐使 2 遣新羅使 3 飛 鳥 4 近 江

J 歴史的に関係のふかい任那の要請をうけて、倭国は朝鮮半島に軍を派遣するが、唐・新羅の連合軍に大敗を喫し、7世紀後半には、倭国はきびしい国際環境のなかにおかれることになった。大宝律令が完成した年、倭国はひさしぶりに唐に使いをおくるが、このときが、わが国が国際社会で「日本」という国号を正式に名乗った最初だといわれる。以降、8世紀には、ほぼ定期的に大規模な使節団をおくり、文物の撰取につとめたが、東シナ海を横断する航路をとったために、難破する船も少なくなかった。

[語 群]

- 1 高句麗 2 百 済
3 半島沿岸をすすむ 4 日本海を横断する

K 平安時代の初期には、律令制度を現実に対処してあらためるとともに、宮中儀礼がととのえられ、のちの年中行事のもとがひらかれた。また、文化の面では、密教がさかんととなり、勅撰文集も編さんされた。このように当時の政治・文化には、唐の影響がつよくみてとれる。その後9世紀末には、唐の国力の衰えをみて、遣唐使は廃止された。やがて10世紀のなかごろには、宋がふたたび統一を実現するが、正式の国交はひらかれず、民間貿易がさかんとした。

[語 群]

- 1 国風化の傾向 2 天平文化への反発
3 物流がとだえた 4 日本の使節は拒絶された

設問 i Fに関して、埼玉県と熊本県の古墳から発見された史料には、「倭の五王」の一人の名前がしるされていた。この人物は、同時代の中国の歴史書においてなんとよばれたか。

【解答】

A 3 B 4 C 1 D 5 E 2

F 4 G 1 H 3 I 5 J 2

K 5

設問 i 武